

## 研修報告

### 三役企画研修

テーマ：飯塚病院における業務改善の取り組み ～MSW が働きやすい職場を目指して～

講師：飯塚病院医療福祉室管理者兼地域連携センター 副センター長 浦川雅広 氏

研修日：2023年6月3日（土）14:00～15:30

研修手法：ZOOMによるライブ配信

参加人数：31名

#### ◇アンケートコメント紹介◇

- これまで、ソーシャルワーカー業務の標準化ばかりに目をやっけてしまっており、個々のソーシャルワーカーの能力差に悩んでいたが、部署の標準化という視点に発想の転換が必要ということに気づかせていただいて、今日参加をして本当に良かったと思う。
- ソーシャルワークが可能になる職場づくりが管理者の仕事ですが、標準化の手順も丁寧に示していただきましたので、うちでやれているところと、これからのところを精査して他部署や幹部の理解も上手に得ながら、スタッフの働きやすさに貢献していこうと思います。
- 現場の科員が納得感を持つ（PDCA の）P と専門性にエモさを感じてもらえる切り口を見つけて、業務時間内に仕事を終わらせる体制づくりに本気で取り組む覚悟を持つことを学びました。

#### 三役企画研修を振り返って

副会長 樋渡貴晴

今回は主に管理者を対象とした研修を企画しました。企画したきっかけは、当協会から4人が執筆協力し、当協会会員でもある日本福祉大学保正友子先生が編集代表を務められた『医療ソーシャルワーカーのための業務マネジメントガイドブック: 49 の実践事例から学ぶ』中央法規出版、2023にて、浦川氏のご高論「地域情報共有システム『こまめる』の開発と導入の成果」pp. 240-245 を拝読したことでした。業務改善にQC活動を取り入れたり、また転院紹介情報のAIによる自動作成など様々な取り組みにより残業を削減。一方で、管理者として判断してきたことを常に内省されておられ、同じ管理者として非常に共感しました。拝読した当日（4月8日）には浦川氏に講師依頼のメールをお送りし、6月3日には研修を開催。この間わずか2ヶ月ではありましたが、事前のご準備も含め浦川氏には当日も非常に精力的にご講演頂きました。全国各地で優れた取り組みをされているMSWは多く存在するものの、それらの取り組みを実際に知る機会は多くはありません。当協会ではこのような全国の優れた取り組みを会員にご紹介し、議論できる機会を作っていきたいと思えます。その点、オンラインでの研修は開催も参加もどちらもハードルが低い良い方法であると考えます。近年1部署に複数人のMSWが所属していることが当たり前になり管理職となったMSWも増加していると思えます。そのため今年度、当協会では管理者を対象とした研修を様々展開していきます。是非、積極的にご参画ください。